

# キッズ ふくしま インたかだ

第7号

2017年10月1日

(発行)

キッズふくしまインたかだ実行委員会  
(事務局)

〒943-0892

新潟県上越市寺町2-24-4

真宗大谷派高田教務所内

TEL:025-524-3913/FAX:025-524-2645

URL:<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

## キッズふくしま

### 副実行委員長

高田教区第一組 徳正寺

繁原 立

二〇一六年十二月二十二日午前  
十時二十分頃、私の住む糸魚川で火  
災が発生した。最大瞬間風速27 m/s  
の風に煽られ多大な被害が生まれ  
た。出火元は私の家のすぐ裏手だ。  
あの時期に強い風が吹くことは地  
元の人たちはみんな知っていた。し  
かし、あれほどまでの大火災になる  
とは誰も予想をしていなかった。と  
いうか、私たちは見たことが無い事  
や物には想像力が無いから対応が  
出来ずに、「未曾有の事件」とか「想  
定外の出来事」ということばを使っ  
て片付けてしまう。世の中では様々  
な事件が毎日起こっているのに、直  
接自分自身に関係のないこととし  
て見過ごし、テレビの中で起きてい  
る事としていないだろうか。実際に  
私も、東日本大震災のときそうだっ  
た。

私は、震災当時まったく原発や東  
北に興味がなかった。メディアにお

いて「問題ありません。」「人体に影  
響はすぐには出ません。」というこ  
とばをすっかり信じていたからだ。  
しかし、どうだろうか。震災後すぐ  
にキッズへ来た子供たちは、「この  
土は触っていいの？この砂は？草  
は？虫は？海は？水は？」一つ一つ  
私たち大人に確認を取る姿が忘れ  
られない。その時に私は自分を恥  
じ、反省をしたことを覚えている。  
そして、訪れたことのなかった東北  
の地に足を踏み入れ、自分の目で、  
耳で様々な実態を経験した。普段は  
子供から教わることはない。なんて  
考えていたけれども、このときばか  
りは本当に自分が愚かであったと  
子供たちから気付かされた。キッズ  
ふくしまは「ごめんなさい。」から  
始まった。原発という危険なもの  
を作って見て見ぬふりをしていたこ  
と。外で遊ぶ環境を奪ってしまった  
こと。子供たちには何にも責任がな  
いのに、起きてしまったことによ  
り、将来的に後処理をお願いしてい  
かなければならないこと。まだまだ  
たくさんある。様々な「ごめんなさ  
い。」がスタッフの気持ちを動かし

ている。知らないからとか分からな  
いからで逃げていてはならない。明  
日は我が身。いつどのような震災が  
襲ってくるか分からない。決して震  
災は他人事ではない。  
まもなく十年という節目を迎える  
にあたって今後の活動や支援の仕方  
が更に問われてくる。何故キッズふ  
くしまが必要なのか。もしくはもう  
いらぬのか。福島の親御さん方、  
高田教区すべての人が真剣に考え、  
話し合い続けていかなければなら  
ない。



オリエンテーリング出発前(池の平センターにて)

# キッズふくしまインたかだ サマーキャンプ 2017

2017年 7月30日～8月5日



池の平センター

## 池の平センター日程

7月30日～8月2日

1日目 (7月30日)

ウェルカムパーティー



## ドクターKの 逆襲!



夏のキッズはセンター日程が三泊四日、ホームステイも三泊四日の六泊七日で実施しました。初めて参加してくれた子供やリピーターの子供たち、総勢41名が新潟へ来てくれました。

夏の池の平は気温が違います。クーラーの必要はなく、夜になれば窓を開けて寝ると風邪をひきます。そんな過こしやすい空気の中で、楽しい時間を過ごしてもらおうと、様々な企画を行いました。



五感を使った実験をしました。目隠しをして鼻栓をして、舌の感覚だけで味を当てるゲーム。氷蜜、お菓子、お茶の味を、舌の感覚だけで当てるのはとても難しいことが分かりました。



まだ緊張がほぐれない開会式





**2日目 (7月31日)**  
**オリエンテーリング**

午前中は、午後のオリエンテーリングに向けての作戦会議の後、自分たちでおにぎりを握って腹ごしらえ。



快晴の池の平。絶好オリエンテーリング日和です。



地図を頼りに班別行動をしました。チェックポイントを通過して全員無事に帰ることができましたが、途中道に迷ったり遠回りをしたりと、珍道中のオリエンテーリングとなりました。



夜はバーベキュー。さすがに疲れを見せる子もいましたが、お腹いっぱいお肉を食べて元気を取り戻しました。夜はあいにく天候が不安定となり、予定していたナイトハイクはセンター内での肝試しになりました。恐怖のあまり思わず叫んでしまったり、泣いてしまったり…。

**スタッフ募集!**

※ お問い合わせは事務局まで

実行委員会では随時スタッフを募集しています。

～池の平会場において～

- ① 全日程通じての参加
- ② 短時間での参加
- ③ 食事の準備、片付け
- ④ 子どもたちと遊びたい人
- ⑤ 現地への送迎

～ホームステイにおいて～

- ① ホームステイの受け入れ
- ② 食事のみの提供 (そば打ち、餃子、BBQなど)
- ③ 催し物や行事の提供 (お講、子供会、陶芸教室、各種スポーツなど)
- ④ 資金の援助
- ⑤ 移動の送迎サポート



よろしくお願ひします!



3日目 (8月1日)

遊びブース



折り紙相撲



シャボン玉



竹細工作り

小雨と若干の濃霧もありましたが、用意した各種ブースで様々な体験をしてもらいました。午前中は室内で紙相撲の体験をした後外に出ました。お昼の流しそうめんは、流すの、茹でるのが間に合わないくらいみんな食欲旺盛でした。



皿回し



火起こし



ペットボトルリフレット



竹弓



流しそうめん



4日目(8月2日)

手作りピザ



生地から練って焼き上げた、本格的なピザが完成。各班個性的なピザが出来上がりました。みんなでおいしくいただいた後は、各ホームステイ先へ出発してきました。



## キッズふくしまを通して

高田教区第十一組 専敬寺

岩崎 歩

## スタッフの声

今年も7月30日から8月5日までの6泊7日で福島の子供たちの保養活動であるキッズふくしまが行われました。福島より41人の小学生を迎え、安全な自然で思いっきり遊んでもらえるように計画し進められました。レクレーションや流しそめん、ピザ作り体験や肝試しなどな

様々な催しが行われ、3泊4日の池の平での活動を満喫しているようでした。また4日目からは、上越地区の協力してくださる複数の寺院に別れ、それぞれの寺院の特色を活かしたホームステイが行われました。私のお寺では、水鉄砲を使ったサバイバルゲームやお菓子作り体験、直江津港での朝釣りや釣った魚の料理作りなど、子供達の要望を聞きながら楽しめる活動を実施しました。子供達は十分楽しんでくれたと思います。

東北の震災や福島原発事故から6年の時間がたちました。マスコミではあまり取り上げられなくなり私達の中で少しずつ過去のこととして忘れ去られがちです。でも福島の保養活動の参加状況を見てもわかるように、まだ震災による傷跡が残っています。そして保養を求める子供達がたくさんいます。そんな子供たちの笑顔を取り戻す活動であるキッズふくしまを、今後も続けていきたいと感じました。

## キッズふくしまにお力添えいただきありがとうございます

「キッズふくしま」とは福島第一原発事故を機に始まった、福島県の子どもたちのための保養活動です。現地の声には、「個人宅の放射能除染が行き渡っていない」、「遊び場である公園に連れて行ったり、遊ばせたりする事が不安」などという声が聞かれます。また子どもたちからも「普段遊んでいた空き地は数値高いから遊べない」、「山に入っちゃいけないって言われた」等、大人は不安からのストレスに、子どもたちは遊び場を失うストレスに悩まされる日々が今だに続いています。

「キッズふくしま」は、大人たちが便利という言葉にごまかされて思考を止め、本当の安全を追及して来なかった事や、原発事故、放射能汚染等の負のバトンを子どもたちに渡さなければならぬ事に対する「ごめんなさいから始める」活動です。子供たちが感じているストレスの軽減と、受けている内部被ばくの減少を目的として、たとえ一週間という短い期間でも汚染されていない地域で過ごし、思い切り遊んでもらいたいと思っています。ご理解の程宜しくお願い致します。

### 皆様からのご寄附をお願いします

#### - 郵便局からの振込 -

口座記号番号(ゆうちょ銀行)

00500-1-101787

口座名 キッズふくしま たかだ

#### - 他金融機関からの振込 -

店番 059(ゆうちょ銀行)

口座名 キッズふくしま たかだ

預金種目 当座

口座番号 0101787



# キッズふくしまで思ったこと

です。特にタ  
ツキーはずご

いわき市 小学校6年生  
鈴木 智也さん

僕は、今回初めてこの「サマー  
キャンプインたかだ」に参加し  
ました。サッカーのチームメイ  
ト四人での参加でした。初日、セ  
ンターに着いて緊張してしまし  
たが、センターのスタッフがあ  
んな優しく安心してました。

センターでの活動はたくさん  
ありましたが、特に楽しかった  
のは、芝生広場で遊んだ事と、流  
しそうめんです。芝生広場でみ  
んなとサッカーや野球、鬼ごっ  
こして仲良くなりました。日程  
中、雨も降りタープテントの中  
で流しそうめんをしました。竹  
の流しそうめんははじめてだっ  
たのでびっくりしました。普段  
このような経験をすることが少  
ないので、いつもよりおいしく、  
たくさん食べました。

ホームステイ先の極生寺で  
は、卓球をしたのが楽しかった

く上手くて尊敬しました。長  
岡の花火大会にも連れて行  
ってもらいました。日本三大  
花火の一つだそうで、今まで  
見てきた中で一番綺麗で迫  
力がありました。

最後の日は、川遊びにい  
きました。いわきではまだ海や  
川に入るのに抵抗があつて  
入っていません。アッキーが  
水鉄砲を買ってくれて、みん  
なで戦いました。石の上はす  
べりやすく何度もこけまし  
たが、とても楽しかったで  
す。ホームステイ先での四日  
間はとても早く充実した四  
日間でした。

別れの集いで仲良くなれ  
たスタッフと別れるのがさ  
みしかったけど、一週間本  
当にいろんな体験をさせても  
らいました。僕は来年中学生  
になるので最後の機会にな  
る「スプリングキャンプ」も  
参加したいです。

4日目(8月2日)  
~7日目(8月5日)  
ホームステイ

## 写真で紹介します



海水浴に行きました



海釣りをして、釣り上げた魚を自分でさばいてから揚げに



カニ食べました



公園で思いきり汗を流して遊びました





協力寺院でバーベキュー大会



夏祭りでゆるキャラと



高校の実習船でクルージング体験



それぞれの食卓の様子。お腹いっぱい食べました。



こんな経験もできました



境内で水鉄砲合戦



イルミネーションの下で

## インターネットで公開しています

これまでの「キッズふくしまインたかだ」の取り組み、今後の予定などを、たくさんの写真と共に随時アップしています。ぜひアクセスしてみてください。

なお、この広報誌はホームページにPDFデータでカラーアップされていますので、印刷してご利用ください。

ホームページ

<https://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

Facebook ページ

<https://www.facebook.com/kidsfukushima/>

Twitter アカウント

<https://www.twitter.com/kidsfukushima/>

## キッズふくしまで感じたこと

郡山市 小学校5年生

国島 夏稀さん

私は、今回のキッズふくしまが初めての参加でした。前日に張り切って持ち物を準備し、当日友達のお母さんに駅まで送ってもらいました。バスが出発し数時間してお昼ご飯。バイキングでした。センターに着き皆でご飯を食べて、ドクターKの実験で1日目は終わりました。

2日目は池の平オリエンテリングが午後であり、晩ごはん後、ナイトハイクと星空観察がありました。特に心に残った事はナイトハイクです。繁原さんの話が本当に怖かったです。

3日目、午前は遊ブースで最初は折り紙をし、みんなで相撲対決をしました。たくさん勝って良かったです。その後、ペットボトルロケットのブースで作成、外に出て飛ばしました。圧をかけて飛んだ。ペットボトルから出てくる水が思っていたよりも自分に

かかってきました事が楽しかったです。午後は雨だったので水遊びはできませんでしたが、夜は花火が出来る程天候が回復して良かったです。センター最終日。荷物整理し、昼食を食べてそれぞれのホームステイ先の照蓮寺さんに行きました。夜には花火をしました。

ホームステイ2日目。この日はプールに連れて行ってもらいました。スライダーや外のプールにも入りました。しょっぱいプールにびっくりしました。照蓮寺の美味しい夜ご飯を食べ2日目終了です。

3日目、船に乗りに行きました。こいで動かすボートに乗ったら足がつかまりました。みんなでソフトクリームを食べて、夜にはバイキングに行きました。美味しくて感動しました。

そしてお別れ。  
さびしかったです。

## ご家族の声 サマーキャンプを終えて

二本松市 武田かおり様

今年6年生の娘は、これまでも何度か参加させていただきました。帰ってくるたびに、「また行きたい!!あれしてこれして...また次のホームステイの何々さんのおうちがいいな。」と話してくれそうです。毎回お世話して下さるスタッフの皆さんや、ホームステイ先の方々にはよくしていただき、感謝しています。

震災から数年、思い返すと子どもたちには我慢ばかり。外で遊ぶこともできずイライラ、毎

## サマーキャンプに参加して

いわき市 福岡 朋様

この度は、子どもが「キッズふくしま・サマーキャンプ」に参加させていただきましてありがとうございます。息子にとって最高の楽しい夏休みとなりました。ホームステイ先の方々にも大変お世話になりました。

震災から六年が過ぎ、記憶もところどころ途切れながらも、まだまだ色々考えさせられます。震災直後より福島は傷つき、悲しい地となりました。報道では伝わりきれない被災地で暮らし成長しながら、この度のように温かく見守られ、新潟での生活や仲良くなった友達のことを目を輝かせて楽しそうに話してくれました。

日の登校にはマスクが欠かせずという生活が続きました。子ども達も私も、心に余裕がなかったなと思います。数年前、友人の誘いで参加させていただいてから、娘はキッズふくしまのキャンプとホームステイに参加して、他ではできない体験をして、毎回大きく成長して帰ってきます。

今後、体も成長し、健康面の心配もありますが、今は少しでもストレスの少ない環境で大事な時期を過ごせたら幸いに思います。本当にこのような貴重な体験がありがとうございます。

一番の思い出は、ホームステイ先で行った海での釣りだそうです。放射能を気にせずに行き、最高に楽しかったようです。いわきでは出来ない貴重な経験をさせて頂き、キッズふくしまの活動に感謝の気持ちでいっぱい。きつと子ども達の心に残るでしょう。

不自由だった時間だけではなく、温もりを感じた時間を忘れずに、自分の言葉で福島を語り、見届ける事を期待します。

スタッフ及び関係者の皆様、本当にありがとうございました。子ども達が帰りのバスを降りてきた瞬間に「楽しかった!また行きたい」と言っていました。これからも長く続けていただければ嬉しいです。